

2019年度 日台産業協力架け橋プロジェクト 実施結果

公益財団法人日本台湾交流協会
貿易經濟部

2019年度実績・成果(まとめ)

- 日台産業交流架け橋プロジェクト助成事業については、2019年度は4団体が13の事業を実施した。
- また、協会独自の事業として台湾における国際展示会出展等事業・セミナーを南港展示場で実施した。

○日台産業交流架け橋プロジェクト助成事業

時期	事業実施団体 【分野】(事業形態)	開催地
2019年7月	全国介護事業者連盟 【高齢者介護産業】(セミナー/商談会)	東京
7月	全国介護事業者連盟 【高齢者介護産業】(セミナー/商談会/展示会)	台北
8月	九州産業技術センター 【環境ビジネス・環境関連製品及び技術】(セミナー)	福岡
9月	熊本県工業連合会 【機械・部品産業】(商談会)	台北
9月	九州産業技術センター 【環境ビジネス・環境関連製品及び技術】(展示会/商談会)	台北
10月	高周波アナログ半導体ビジネス研究会 【製造業・情報通信業・先端コア技術】(セミナー)	台北
11月	九州産業技術センター 【環境ビジネス・環境関連製品及び技術】(展示会/セミナー)	台北
2020年1月	熊本県工業連合会 【機械・部品産業】(セミナー)	熊本

○台湾における国際展示会出展等事業・セミナー事業

2019年8月	Taipei Automation展 (出展/商談会) 日本の最新FA・ロボット化事情セミナー	台北
---------	--	----

2019年度実績・成果(個別事例)

ポイント:

- 大手半導体、半導体装置メーカーの集積地である熊本県と世界の半導体を牽引する台湾とのビジネスチャンスが見込まれる。参加企業の多くがサプライチェーンとなる中小企業であり、半導体で培われた技術力・品質力と台湾のマーケティング力の協業による新たなビジネス展開に期待。
- 熊本県のみならず、九州全域のクラスターとして参画したことで、より台湾側との商談の幅も広がり、一層の信頼が得られた。
- 連携先(台湾電子設備協会)の他、T J P O等の協力を得ることで商談の規模が大きくなり、精度の高いマッチングができた。

半導体産業向けに培った技術で新たな販路を開拓



株式会社ホクエツ (熊本県熊本市 本社: 神奈川県)

代表取締役社長 鈴木 正喜 氏



微酸性電解水生成装置Apia60

○参加年度: 2019年度

○参加事業: (一社) 熊本県工業連合会主催の台北での商談会に参加

○業務内容: ガス供給及び除害装置設計製作、電解水装置の設計製作

○台湾での新ビジネス開始までの経緯:

- ・架け橋プロジェクトである(一社) 熊本県工業連合会、大分LSIクラスター形成推進会議及び台湾電子設備協会共催の「台湾・日本九州地区電子設備等半導体産業商機商談交流会」に参加し、商談相手企業(尚立(股))への微酸性電解水装置の販売契約に至る。
- ・商品は、ホクエツ社が半導体産業向けに培った技術を用いて製作した微酸性電解水生成装置で、青果類の活性化・ウィルス等の除菌・消臭を実現した塩を使用しない環境に配慮したものであり、食や健康、環境に対する意識の高い台湾での需要が見込めた。
- ・尚立(股)は、日本の大手半導体・電機メーカーの代理店。メディカルや食品分野、各種システム開発等、幅広い分野にも事業展開しており、台湾域内販売向けに同製品を購入。
- ・半導体産業向け技術を有する企業が、同技術の転用により新たな分野への市場開拓に成功した事例。

○今後の予定: 新型コロナウイルス対策としても台湾市場へ微酸性電解水を売り込む。病院、保育所、市場等への展開や第三国への販路拡大も視野にいれており、台湾域内での装置組立等についても検討。